

おしやりん 9月発行

◎特集

念願の

「沖縄県障がい者ITサポートセンター」

2・3p

調べてみました

「日常生活用具給付事業」

5p

お宅訪問記

前川敦さん

6p

バリアフリースポット

Kafu-C Ryukyu

8p

お知らせ

8p

編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
 E-mail office@okisekikyo.com
 ホームページ http://okisekikyo.com/
 facebook http://www.facebook.com/okisekikyo Skype ID:okisekikyo

表紙写真：IT支援機器を活用し、パソコンの操作をする宮城幸春さん

念願の「沖縄県障がい者ITサポートセンター」

スタート!

5年越しの目標だった「沖縄県障がい者ITサポートセンター事業」を受託運営することになりました。

沖脊協会の中には、C4レベルの首下完全マヒにより、パソコン等のIT機器を利用する際の相談や環境整備支援を必要とする方々が多く、ピアサポートを通してIT利用の相談窓口の必要性を強く感じました。国の国庫補助事業である「障がい者ITサポートセンター事業」の沖縄県設置を目標に2013年からソーシャルアクションを開始。学びのために県外の取り組みを視察に行きました。また、実際の支援活動をモデル調査して取り組むなど多様な活動を展開していました。

当初は、沖脊協が事業の担い手としては考えていませんでしたが、行政から「支援実績があると事業化しやすい」というアドバイスを受けたこともあり、担い手としての方向でシフトチェンジし、そこから「NPO

法人化」、就労支援事業である「障がい者ITサポートおきなわ」が誕生したのでした。

沖脊協の柱であるピアサポート活動が会の推進に活かされたことは意義のあることだと思います。

多くの仲間を支えられて今日までできましたが、これからも仲間を支えられながら、支える活動に熱意をもって取り組みたいと思います。

沖縄県障がい者ITサポートセンターとは

ICT（情報コミュニケーション技術）を通じて、障がいがある方の社会参加や情報バリアフリーを推進する目的で、「ITに関する相談」「講習会・セミナー」「情報支援機器の体験・貸出」「テレワーク（在宅就労）支援」を主な事業として、特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会が、沖縄県の委託を受け平成30年8月に開設いたしました。



主な事業の説明

◆ ITに関する利用相談及び情報提供

県内の障がい者の皆様に向けたパソコン等のITに関するサポートを行います。例えば「手が不自由でもパソコンを使えるようにしたい」、「スマートフォンを使いやすい設定にする方法を知りたい」、「スイッチや入力を補助する装置はどのようなものがあるか教えて」、「パソコンやソフトを購入するときの助成制度を教えてください」など、IT機器の利用において様々な生じるご質問・ご相談にお応えし、情報支援機器やアプリ等の情報提供を行います。相談は、来所・メール・電話・FAX・WEB（スカイプやLINE等のビデオチャット）にてお受けします。

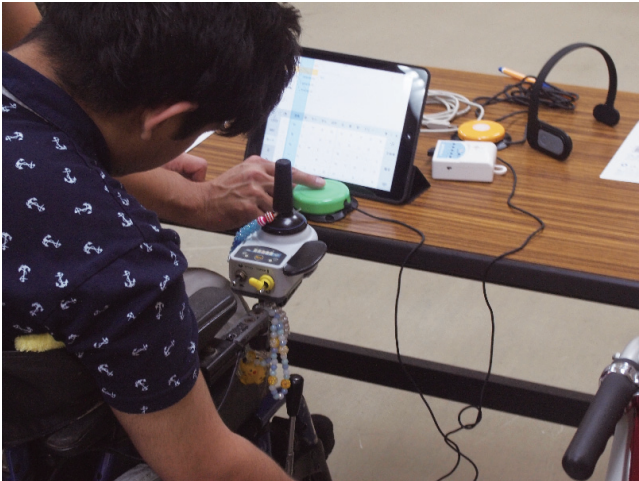


◆**展示・体験コーナーの設置と貸出**

センターでは、情報支援機器の展示・体験コーナーを設置し、見て、触れて、使ってみて、ご自身に合った適切な支援機器の選択につながるよう支援します。また、必要に応じて貸出も致します。

◆**IT サポーター及び IT ホームティーチャーの養成と派遣**

講習会・セミナーの実施では、障がい者を対象としたアクセシビリティ及びパソコン講習や IT 事業者向けに障がい者対応講習会等を開催します。キックオフ事業として情報アクセスや移動が困難な障がい者のパソコン機器等の使用を支援するため、IT サポーター（ボランティア）及び IT ホームティーチャーを養成し、支援内容に応じて登録された IT サポーター及び IT ホームティーチャーをご自宅等へ派遣する事業に取り組みます。なお、派遣については登録体制が整い次第スタートいたします。



◆**情報アクセシビリティや IT 関連の講習会の開催**

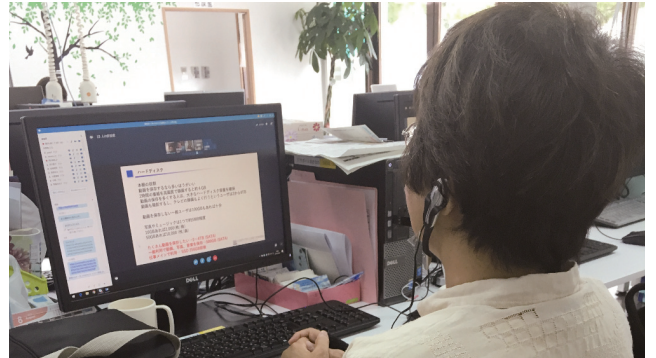
障がい者を対象としたアクセシビリティ及びパソコン講習や、IT 事業者向けに障がい者対応講習会等を開催します。

個別指導については、随時行っておりますので、お問い合わせ下さい。



◆**テレワーク（在宅就労）**

移動が困難な障がい者等の方々に対して、在宅での働き方としての「テレワーク」を推進するために、テレワークに関心のある障がい者対象に講習会等を開始します。また、テレワークでの障がい者雇用を推進するために企業採用の創出支援を進めます。



➡ **センタースタッフの紹介** ➡



仲根 建作 (センター長)

相談支援を事業の柱として、丁寧に一人一人の困りごとに寄り添った事業展開を目指したいと思います。また、県域支援の役割として離島での支援環境を図ることを大切にしたいです。当面は試行錯誤の連続になりそうですが、新たな創造に向けたワクワク感を楽しみたいと思います。



砂川 昭人 (IT 支援相談員)

これまでさまざまな方に IT サポートをさせていただいた経験と、趣味でやっていたパソコンいじりやソフト開発などの経験を総動員して、皆さんのために何かお役に立てるかと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



上里 忠邦 (IT サポートコーディネーター)

コーディネーターとして IT を利用することに障がいがある方とそれをサポートするメンバーの懸け橋となり、一人でも多くの方が自分らしく IT を活用できる未来を切り開くお手伝いをさせていただきたいと思ひます。



奥浜 彩加 (IT 支援相談員)

初めまして！「沖縄県障がい者 IT サポートセンター」スタッフの奥浜と申します。IT でお困りの皆様から、気軽にご相談いただけるよう、精いっぱい頑張る所存です。何卒よろしくお願い致します！

「沖縄県障がい者ITサポートセンター」キックオフ事業

情報アクセシビリティ講習

情報アクセシビリティとはパソコンやWebページをはじめとする情報関連のハードソフト、サービスなどを、高齢者や障がい者を含む多くのユーザーが不自由なく利用できること。

10月13日(土) 10:00-16:00
受付開始 9:30

会場 **那覇市IT創造館 研修室**

※会場には駐車場がございません。公共交通ご利用のうえお越しください。

対象
・障がい者支援従事者
・パソコン等販売関係者
・障がい当事者

受講料 **無料** 募集定員 **30人** ※定員に達し次第、締め切らせていただきます

講習Ⅰ **iOS (iPhone、iPad等)**

時間 **10:00-12:00**



講師: **山口 飛氏**

沖縄県立大平特別支援学校 教諭
AT-Okinawa 広報担当
Apple Distinguished Educator
Apple Professional
Development Trainer

※講習Ⅰにお申し込みの方は、**必ず iPhone 又は iPad をご持参ください。**

講習Ⅱ **Windows**

時間 **13:00-16:00**



講師: **大島 友子氏**

日本マイクロソフト株式会社
アクセシビリティ担当

※講習Ⅱでは、PC(Windows)を主催者で準備いたします。

お問合せ



沖縄県障がい者ITサポートセンター
(障がい者ITサポートおきなわ内)

☎ 098-911-1930 ✉ info@o-it.jp

お申込み

web 申込フォームにて
お申し込みください。

🌐 <https://goo.gl/VT5tzw>



交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】☎(098) **963-6268**

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。

移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

相談例: 後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



ご自宅や介護施設まで出張施術します!



病院と同じ健康保険証が使えます!

代表 **林 秀一**

TEL: 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



0120-680-006

フリーダイヤル

✉ mail info@ryukyu-chiryoin.com 🌐 <http://www.ryukyu-chiryoin.com/>



生活環境を快適に！ 「日常生活用具給付事業」

ネット社会の今、情報を得るためにもパソコンやタブレットなどを使う方が増えています。しかしながらパソコンなどで情報を得たくても、身体に障害があると操作しづらい…それを補うためにパソコン周辺支援機器を購入したくても高額で手が出せない…という方、日常生活用具給付事業を活用してみたいかご存知でしょうか？

「日常生活用具給付事業」は市町村が行う地域生活支援事業の一つです。障がい者の日常生活を円滑に過ごすために必要な機器を給付する事業です。

この事業は大きく分けて6つに区分されています。今回はその中の1つ情報意思疎通支援用具の「情報・通信支援用具」について調べてみました。

この事業は種目ごとに普及の対象者や上限額、耐用年数があります。情報・通信支援用具の普及対象者は上肢機能障害または視覚障害の方が対象で、上限額は100,000円になっています。給付可能な用具は、パソコン周辺支援機器やアプリケーションソフトです。以前まで耐用年数はなく、一回限りでパソコンの申請も可能でしたが、平成30年4月から耐用年数が5年にり（市町村により異なります）、パソコンは対象外となりました。

手続きに必要なものは身体障害者手帳、印鑑（認印可）、見積書、年金受給額のわかる書類などです。その他、意見書や診断書等の提出を求められる場合

があります。

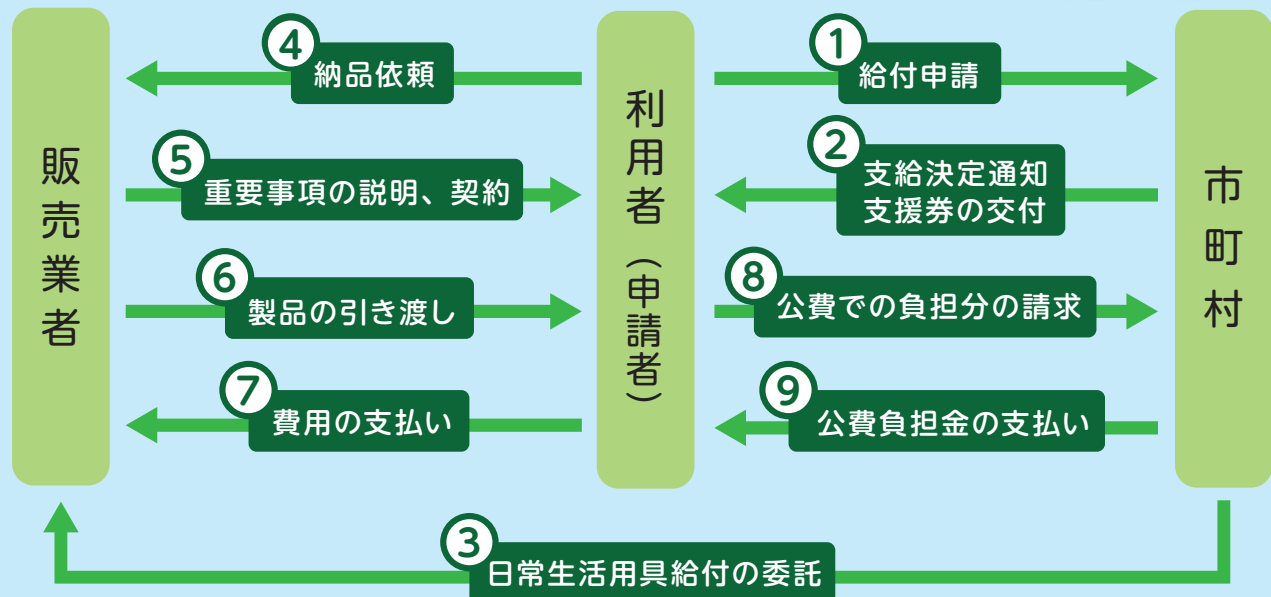
手続きの流れは、最初に①前述した必要なものを申請の際に提出します。②給付決定後、市町村から支給決定通知書と支援券が送付されます。③市町村から販売業者へ日常生活用具給付の委託をします。④②で届いた書類を販売業者に提出します。⑤販売業者と日常生活用具の購入等について契約を結びます。⑥契約に基づき購入した製品を販売業者から受け取ります。⑦購入した費用を販売業者へ支払います。⑧領収書と日常生活用具給付券を添えて、市町村に自己負担額を除いた負担分を請求します。⑨市町村は、請求を正当と認めた場合は、公費負担金を支払います。

利用者負担は購入価格の原則1割を負担します。（生活保護を受けている方の負担はありません）また、世帯の所得に応じて利用者負担に上限額が設定されます。また、市町村により利用者負担額が変わることがあります。

パソコン周辺支援機器がどのようなものかわからない方、この事業について詳しく知りたい方は沖縄県障がい者ITサポートセンターまでお問い合わせください。



日常生活用具給付等事業事務の流れ



会員さん お宅訪問記

まえかわ つとむ 前川 敦さん



先日、大城昌彦さん他その他多数の方々の協力の下、ようやく引っ越すことができた前川敦さんに、引っ越しまでの経緯とその後の状況を聞きにお邪魔しました。現在、前川さんは那覇市真嘉比にある賃貸アパートに住んでいます。

－引っ越しを決めたのはいつ頃ですか？

2年前から考えていましたが、昨年病気で緊急搬送されてからこのままではいけないと感じ、今回やっと実行に移せました。以前住んでいたところは一軒家だったので一人暮らしでは使わないスペースが多く、また家賃が高いことも理由でした。

－引っ越し先は決めていましたか？

最初は、できれば同じ浦添市内と思っていました。市町村が変わると諸手続きがかなり面倒なのと、20年ぐらい同じ場所に住んでいるので生活環境を変えたくなかったのです。



洗濯物を干せるようにスノコとスロープを設置

－不動産情報はどのように収集しましたか？

最初は不動産にいろいろ依頼していましたが、車いす利用としての条件（1階部屋、エレベーターの有無、段差無し、トイレ、風呂場）がなかなか合わずじまいでした。そんな中、条件のよい物件に住んでいる頸髄損傷の方から空き部屋があると聞き、この物件を断ると次はないと思い、決断しました。

－実際の引っ越しで大変だったことは？

結果的に那覇市に引っ越しすることになりましたが心配していた通り、諸手続き（住民票、年金、健康保険、障害福祉課、免許証、車庫証明書、陸運事務所など）が想像以上にあり、そのたびに出かけることが多くとても疲れました。



－現在の状況は？

家事援助のヘルパーを週3回入れて、部屋の片付けや食事の準備をしてもらっています。初対面のヘルパーを受け入れる際は、とりあえず一緒にタバコを吸ったりして相手を受け入れつつ自分を受け入れてもらうようにいろいろ工夫しています。

ヘルパーは今の時代同性介護で男性ですが、特に気兼ねはありません。今は引っ越しが終わって3ヶ月経ち、まったりと過ごしています。

少し狭いですが、ぜひ新しい部屋を見に遊びに来てください。（砂川昭人・仲根藤江）



台所に全自動洗濯機を設置



Kafu-C Ryukyu



今回のバリアフリースポットは、那覇市松尾にある八汐荘1階のKafu-C Ryukyu。

ランチタイムはバイキング形式になっており、店内は広々。車いすでも余裕で動き回れます。

おしゃれな内装に感心しつつも、残念ながら、私一人では料理は取れず。介助者が必要でしたが、模合や会合などで使えたら最高だと思いました。

身障者用トイレも広々としており、車椅子から移乗する人でも安心です。全体的に清潔感があり、大変良かったです。もちろん料理も美味しくいただきました。(友利克也)



Kafu-C Ryukyu

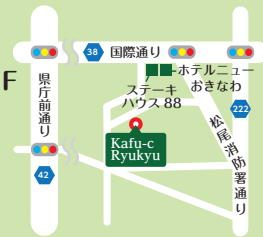
住所 〒900-0014

那覇市松尾1-6-1 八汐荘1F

電話 098-869-5656

時間 11:30 ~ 15:00
18:00 ~ 22:00

定休日: 日、祝日



R.C.Y.

Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック やまぐち

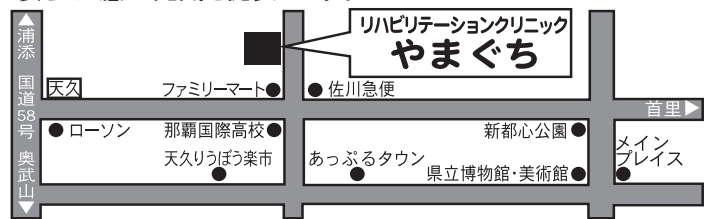
〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL098-864-1100

診療スタッフ

医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
	▶身体能力訓練
	▶言語訓練
	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00~11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00~ 6:00	○ ○ ○ / ○ ○

安らぎ・癒し・元気を提供します。



ちはる歯科クリニック

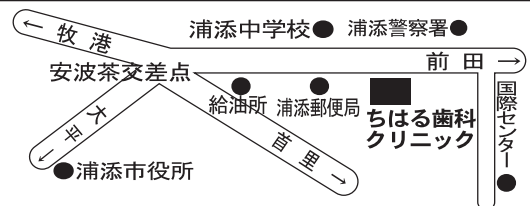
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

初講師 ～観光バリアフリー講演～

平成30年度、沖縄交通新任乗務員講習会にて、観光バリアフリーの講師として講演してまいりました。

参加者の乗務員さん達は、新任と言ってもほとんどが自分よりも先輩方でしたが、年配&若者に関係なく障がい者がどのように接してくれたら不安を解消できるのか少しでもわかってくれたらと思います。こういった講習会を新人だけでなくベテラン乗務員にもやってくれたら障がい者に対する意識も良くなると思いました。

沖縄は観光客も年々増加し、車椅子の人も増えていくと思うので、道路&商業施設だけでなく心のバリアもなくしたいです。(友利克也)



SEASIRS 九州大会告知

12月1日(土)～2日(日)に宜野座村総合体育館で「第39回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会」が開催予定で、地元からSEASIRSが参加します。この大会は2010年度以来の沖縄開催です。興味ある方はぜひ会場に足を運んでください。



沖縄フェニックス 九州大会優勝！

9月8日(土)～9日(日)に熊本県立総合体育館で第30回九州車いすツインバスケットボール選手権大会が開催され、沖縄フェニックスが2015年の沖縄大会以来3年ぶり5回目の優勝を果たしました。また、大会MVPには洲鎌敏美選手が選ばれました。大会には九州各地から9チームが参加し、フェニックスは初戦の太陽の家ブレイカーズ(大分)、準決勝の地元MāuG's(熊本)に勝利し決勝へ進出。決勝戦の相手は博多パトラッシュ(福岡)。ここ最近の大会は大一番で勝ちきれない試合が続いていましたが、今回は序盤から常にリードを保ち、途中相手に傾きかけた流れにも慌てず我慢。

最後まで自分たちのプレーを続けた結果、久しぶりに優勝することができました。(大城一志)



編集後記

新しい事業の「沖縄県障がい者ITサポートセンター」の運営がスタートし、バタバタと慌ただしい毎日です。一段落した時の体調に気がつけたいです。(笑)

今後もしゃりんのご愛読よろしくお願ひします！(又吉@障がい者ITサポートおきなわ)